

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 22 日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25370204

研究課題名(和文)1960年代～70年代の日本の放送メディアにおける寺山修司の創作活動の研究

研究課題名(英文) Study of Shuji Terayama in the Japanese broadcast media from the 1960's through the 70's

研究代表者

守安 敏久 (MORIYASU, Toshihisa)

宇都宮大学・教育学部・教授

研究者番号：80247866

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：寺山修司構成、萩元晴彦演出により、1960年代にTBSで制作された一連のテレビ・ドキュメンタリーを通して、その放送史上の意義を考察した。とりわけ、さまざまな人に質問をぶつけていく街頭インタビュー番組『あなたは……』(1966年)、『現代の主演 日の丸』(1967年)を対象として、質問することそのものを方法化した寺山修司の「半世界」の思想について解説した。このドキュメンタリーでは、「質問」に揺さぶられ、戸惑いながら回答していく人々の姿を通して、視聴者もまた幸福の在り処と自己の存在証明を自問することになる。成果は単著『寺山修司論 パロックの大世界劇場』(国書刊行会、2017年2月)として刊行。

研究成果の概要(英文)：I studied the significance of the broadcast history through a series of TV documentaries(constitution by Shuji Terayama, and direction by Haruhiko Hagimoto) produced in TBS in the 1960's. On man-in-the-street interview program "You..." (1966), and "The Leading Part of This Age, the Flag of the Rising Sun" (1967), I analyzed it about thought of "the half world" of Shuji Terayama who has methodology of the question. Through the people who reply in this program, the audience will also ask himself/herself about whereabouts of the happiness and existence proof of the self.

I published Monograph "Study on Shuji Terayama: Big World Theater of Baroque" (Kokushokankoukai, February, 2017).

研究分野：日本近代文学

キーワード：寺山修司 放送 テレビ・ドキュメンタリー ラジオドラマ TBS 萩元晴彦

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究では、1960年代～70年代の日本の放送メディアにおける寺山修司の創作活動について研究した。俳句・短歌・現代詩から、演劇・映画の演出など、あらゆるジャンル、メディアを横断して実験的な活動を展開した異能が寺山修司である。その寺山は1960年代～70年代、ラジオおよびテレビという放送メディアにおいて、旺盛な創作活動を展開した。本研究では、数々の国際的な受賞にも輝いた寺山修司が、放送芸術にもたらした創造的成果を検証することを目指した。

(2) 当時の放送界は作品の保存意識が希薄で、放送された作品の多くは消えてゆき、芸術祭などで受賞した作品の一部がかるうじて保存されていたにすぎない。しかもその過去の放送作品がようやく一般に公開されるようになったのは、1991年に放送ライブラリー(横浜市)が開館してからのことである。また2003年にはNHKの過去の番組を公開するNHKアーカイブス(埼玉県川口市)が開館し、放送作品そのものを実際に視聴することができる環境が整いつつあった。また放送局が、過去の作品をオンデマンド方式で、インターネット配信する体制も整ってきた。

2. 研究の目的

(1) 大衆芸術である放送作品についての文芸的研究はきわめて少ない。本研究では、1960年代～70年代の日本の放送メディアにおける寺山修司の創作活動について研究した。1960年代から70年代にかけての時期は、ラジオが技術的にも芸術的にも高度に拡大した時期ではあるが、同時にテレビの普及とともにラジオが衰退へ向かう時期でもある。このメディア転換の起きた時代の放送作品を分析し、その文芸的価値を再評価することは、放送芸術の文芸的研究において重要である。

(2) 寺山修司については、演劇作品の研究は進んでいるが、放送作品についての文芸的研究はほとんど進んでいない。寺山修司・作のラジオドラマ音源は、かなり公刊が進んでいるものの、それに比べて作品研究は遅れている。寺山修司が関わったラジオドラマや、テレビ・ドキュメンタリーについて、その方法論を研究することで、彼が放送史において果たした役割を研究した。

3. 研究の方法

(1) 研究期間の初年度に、TBS報道局と東京藝術大学芸術情報センター主催で「テレビジョン再検証・中継の思想」(東京藝術大学)という連続上映会があり、1960年代のTBSテレビ・ドキュメンタリーをまとめて見る機会を得た。それには寺山修司構成、萩元晴彦演出による作品群が数多く含まれていた。

(2) とりわけ、さまざまな人に質問をぶつけていく街頭インタビュー番組『あなたは...』(1966年11月20日放送、第21回芸術祭テレビ・ドキュメンタリー部門奨励賞受賞作品)、『現代の主役 日の丸』(1967年2月9日放送)を主たる分析対象として、質問することそのものを方法化した寺山修司の思想を明らかにすることを目指した。

4. 研究成果

以下、研究年度ごとに、その成果を述べる。

(1) 2013年度

寺山修司構成、萩元晴彦演出により、1960年代にTBSで制作された一連のテレビ・ドキュメンタリーについて考察した。『カメラ・ルポルタージュ 中西太・背番号6』(1964年7月)、『カメラ・ルポルタージュ サラブレッド わが愛』(1964年10月)、『カメラ・ルポルタージュ 勝敗(第1部・第2部)』(1965年10月)、『あなたは...』(1966年11月)などの作品群である。

とりわけ、さまざまな人と同じ17項の質問をぶつけていく街頭インタビュー番組『あなたは...』(寺山修司構成、萩元晴彦・村木良彦演出、第21回芸術祭テレビ・ドキュメンタリー部門奨励賞受賞作品)について、「テレビは時間である」という萩元晴彦の思想と、そこに見られる正と反との「対比」構造、さらに質問することそのものを方法化した寺山修司の「半世界」の思想などについて解読した。このドキュメンタリーは一種の人間図鑑であり、「質問」に揺さぶられ、戸惑いながら回答していく人々の姿を通して、視聴者もまた幸福の在り処と自己の存在証明を自問する「幸福論」となっている。

(2) 2014年度

前年度の研究に続き、寺山修司構成、萩元晴彦演出により、1960年代にTBSで制作された一連のテレビ・ドキュメンタリーについて考察した。『現代の主役 日の丸』(1967年2月)、『マスコミQ 私は...』(1967年6月)、『マスコミQ 続・私は...』(1967年6月)、『マスコミQ アメリカ人・あなたは...』(1967年10月)、『現代の主役 私は日本人です』(1967年10月)などの作品群である。

とりわけ、さまざまな人に矢継ぎ早に質問をぶつけ、日本人の日の丸に対する意識、国家観、愛国心などを探った街頭インタビュー番組『現代の主役 日の丸』(寺山修司構成、萩元晴彦演出)について解読した。そこには「あなたは祖国と家庭とどちらを愛していますか」といった質問なども含まれており、日の丸と戦争との距離を探りながら、愛国心の正負両面を意識させる挑発的なドキュメンタリーとなっていた。またこの作品については、放送後、郵政相が「偏向番組」発言をし、政府側の番組干渉が放送局側の自主規制を生むことともなった。

(3) 2015年度

前年度までは、寺山修司構成、萩元晴彦演出により1960年代にTBSで制作された一連のテレビ・ドキュメンタリーについて考察したが、2015年度は、NHKで制作されたラジオドラマ『瓜の涙(泉鏡花・著「瓜の涙」河伯令嬢から)』(寺山修司作、古川仁演出、1980年11月1日放送)を考察対象とし、さらに寺山修司が泉鏡花原作に触発されて製作した映画『草迷宮』(寺山修司監督・脚本、1979年)についても研究を進めた。

ラジオドラマ『瓜の涙』にも映画『草迷宮』にも、泉鏡花原作から引き出された球体や円形のイメージが頻出している。それは、寺山修司にとって、「母の乳房」にも「母の生首」にも置き換え可能な、「母探し」と「母殺し」とが交錯するパロディ的な「球体幻想」の世界である。

(4) 2016年度

3年間にわたって、計画通り、1960年代～70年代の日本の放送メディアにおける寺山修司の創作活動について研究してきた。当初3年間の研究期間を1年間延長し、最終年度である4年目の2017年度は、その研究成果を単著『寺山修司論 パロディの大世界劇場』(国書刊行会、2017年2月刊、全584頁、ISBN978-4-336-06135-5)にまとめることに注力した。

本書は、寺山修司の放送メディアにおける作品(ラジオドラマ、テレビドラマ、テレビ・ドキュメンタリー)についての研究をまとめただけではなく、その映画・演劇作品をも含めて、寺山芸術を総合的に考究する研究集成として公刊することになった。

誇張・過剰・不規則の芸術様式であるパロディ芸術を、エウヘニオ・ドールズ『パロディ論』は、あらゆる時代・あらゆる地域に開花しうる普遍的な文化傾向として広義に理解したが、この意味で寺山作品も奇態なパロディ的性格を持っている。遊戯的な演技と変身の主題、虚構と現実の錯綜と「メタシアター」構造など、そこに見られる、「生ははかない夢であり、世界は演劇である」という世界観には「パロディの大世界劇場」(リヒャルト・アレヴィン)を認めることができる。その「パロディ常数」を寺山作品のうちに見出しながら芸術創造の秘儀を解読した。

また本書にはかつて私自身が聞き手の一員として行った「寺山修司インタビュー」(『東京大学新聞』1981年1月の再録)や、寺山修司の文章が高等学校教科書や大学入試に採用された事例の作品読解についても収録した。加えて、詳細な「寺山修司年譜」を作成し、研究の便宜に供した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計5件)

守安 敏久「J・A・シーザー『J・A・シーザー黙示録』レビュー」(国際寺山修司学会編『寺山修司研究』第9号、文化書房博文社、2016年4月、4～7頁、査読無)

守安 敏久「寺山修司の映画『草迷宮』「母探し」と「母殺し」」(『宇都宮大学教育学部研究紀要』第66号第1部、2016年3月、21～33頁、査読無)

<https://uuair.lib.utsunomiya-u.ac.jp/dspace/handle/10241/10243>

守安 敏久「イベント・レビュー 田中未知 PRESENTS『寺山修司を歌う 読む語る』(スパイラルホール)」(国際寺山修司学会編『寺山修司研究』第8号、文化書房博文社、2015年4月、4～7頁、査読無)

守安 敏久「寺山修司のテレビ・ドキュメンタリー『現代の主役 日の丸』 「あなたは祖国と家庭とどちらを愛していますか」」(『宇都宮大学教育学部紀要』第65号第1部、2015年3月、1～20頁、査読無)

<https://uuair.lib.utsunomiya-u.ac.jp/dspace/handle/10241/9655>

守安 敏久「寺山修司のテレビ・ドキュメンタリー『あなたは……』 出会いの「数学的幸福論」」(『宇都宮大学教育学部紀要』第64号第1部、2014年3月、1～17頁、査読無)

<https://uuair.lib.utsunomiya-u.ac.jp/dspace/handle/10241/9173>

[学会発表](計4件)

守安 敏久「寺山修司年譜考」(第20回国際寺山修司学会秋季大会、2016年10月1日、愛知学院大学・栄サテライトセンター、愛知県名古屋市中)

守安 敏久「寺山修司の映画『草迷宮』」(第19回国際寺山修司学会春季大会、2015年5月23日、立正大学品川キャンパス、東京都品川区)

守安 敏久「寺山修司のTBSテレビ・ドキュメンタリー」(第18回国際寺山修司学会春季大会、2014年5月24日、愛知学院大学楠元学舎、愛知県名古屋市中)

守安 敏久「寺山修司のテレビ・ドキュメンタリー」(第15回国際寺山修司学会春季大会、2013年5月11日、多摩美術大学上野毛キャンパス、東京都世田谷区)

[図書](計4件)

守安 敏久『寺山修司論 パロディの大世界劇場』(単著、国書刊行会、2017年

2月、全584頁、ISBN978-4-336-06135-5)
これまでに本書は以下の新聞・雑誌で紹介・書評された。
『毎日新聞』2017年4月2日朝刊「今週の本棚」 cover design
『日本古書通信』2017年4月号
『サンデー毎日』2017年5月7-14日GW合併号(評者=岡崎武志)
『東京新聞』2017年5月7日朝刊 読書面(評者=葉名尻竜一)

守安 敏久 他 『現代文A 青春文学名作選』教授資料 [1] 1~5単元』(共著)「寺山修司『言葉を友人に持とう』」担当執筆(教育出版、2014年3月、16~33頁、ISBN9784316114040C3390)

守安 敏久 他 『現代文A 青春文学名作選』教授資料 小テスト・評価問題(標準・発展)・増補教材評価問題[1]』(共著)「寺山修司『言葉を友人に持とう』」評価問題(標準・発展)」担当執筆(教育出版、2014年3月、15~20頁、ISBN9784316114064C3390)

守安 敏久 他 『現代文A 青春文学名作選』教授資料 PDFファイル版(CD-ROM)』(共著)「寺山修司『言葉を友人に持とう』」担当執筆(教育出版、2014年3月、ISBN9784316113708C3390)

〔産業財産権〕
該当なし

〔その他〕
該当なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

守安 敏久 (MORIYASU, Toshihisa)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号: 80247866

(2) 研究分担者

該当なし

(3) 連携研究者

該当なし

(4) 研究協力者

該当なし